

令和8年度 小浜市立今富小学校 スクールプラン(暫定版)

小浜市学校教育基本理念

「子どもが主役の教育」を通じて、一人ひとりが自分の生き方を主体的に考え、よりよく生きる道を選び取る力を育成するとともに、他者との協働のなかで、ウェルビーイングの高い地域社会を創造していく。

小浜市学校教育方針

- 1 自らの人生や未知の状況を切り拓く(挑戦する)力を育む
- 2 ふるさとを愛し、誇りに思う心を育む
- 3 ふるさと小浜の食への想いと食育先進地としての誇りを育む
- 4 心身ともに活力のある生活習慣を育む
- 5 生き生きと学び、働くとのできる学校環境をつくる



学校教育目標

すすんでかかわり 生き生きとくむ今富っ子

～この仲間のために この仲間とともに～

<育てたい資質・能力>

課題発見解決能力

- ・みんなで話し合うことで課題を見つけようとする力(人間性)
- ・情報や意見を関連づけたり比較したりして考える力・整理する力(思考)
- ・根拠を明らかにしながら自分の考えを伝える力(知・技)

子どもが主体的にとりくむ授業づくり

子どもがモデルとなる学校づくり

めざす子ども像

思いやりのある子  
学びに夢中になる子  
健康でたくましい子

子どもたちの願い

思いやりのある子 ～つながりを大切にする心～

- ① 自他を思いやり認め合う心の醸成
- ② 集団生活のルールやマナーの定着
- ③ ふるさとを愛するこころの涵養

学びに夢中になる子 ～考える楽しみ・伝える喜び～

- ① 課題発見解決能力を育む授業づくり
- ② 家庭学習と読書活動の充実

健康でたくましい子 ～「幸せ」を自他ともに、今も未来も～

- ① 健康な生活習慣の定着
- ② 運動習慣の定着
- ③ 安全意識の向上(交通、自然災害、不審者、情報モラル)

【具体的な取組】

【研究テーマ】主体的に課題を見つけ解決しようとする子どもの育成

【具体的な取組】

① 自他を思いやり認め合うこころの醸成(人権感覚の涵養、いじめ・不登校の未然防止)

- \* すべての子にとっていごちのよい学級・学校作り
- 児童が関わり、つながる機会の充実
- ・ おはよう・ありがとうがあふれる学校

・ ふり返りをもとにした、協力し合うたてわり活動

- \* 子どもの心を耕す道徳・自他を大切にする人権学習

② 集団生活のルールやマナーの定着(意識の向上)

- \* 気持ちのよいあいさつ・返事・言葉遣い \* 無言清掃の徹底

③ ふるさとを愛するこころの涵養

- \* 地域に根ざしたふるさと学習の推進(地域の方とのふれあい、様々な体験、五感を通した学び、学びの発信)

① 課題発見解決能力を育む授業づくり

- \* 資質能力を明らかにした単元構想と教科横断的なカリキュラム作り
- \* 3S学習を軸にした探究的な授業づくり(3S学習のハイブリッド化)
- 探究のサイクル(課題設定→情報収集→整理分析→まとめ・表現→ふり返り)が身につく授業づくり
- 伝えきき合う活動(対話)を充実した授業づくり

\* たれもか学びの達成感・満足感を感じられる授業を通した仲間づくり

② 家庭学習と読書活動の充実

- \* ふり返りをもとにしためあての設定・自学ノートの活用による学習習慣の形成
- \* 学年にあった読書のめあてを家庭と共有

① 健康な生活習慣の定着

- \* 早寝早起きの推進(メディアコントロール・アウトメディア)
- \* 食に関する授業の充実(将来の健康を見ずえた食生活づくり)

② 継続的な運動習慣による体づくり

- \* 業間体育の充実(たてわり活動 目標設定、評価の工夫)
- \* 一輪車強化月間の取組

③ 安全意識の向上

- \* 交通安全教室と避難訓練(自然災害・事故・不審者)の積極的実施
- \* メディアリテラシーの推進(今富スマートルールの定着)

「満足・感謝・感動で創る すべての人の幸せ」 ～みんなで聞く みんなと聴く みんなに訊く～

- ① いごちのよい学級だと感じる【85%】
- ② 登下校時、自分から進んであいさつをする【80%】
- ③ ふるさと小浜(今富)の良さが分かる【90%】

- ① 分からないことや疑問を自分たちで調べ解決することが楽しい【85%】
- ② ふり返りをもとにしためあてをもって、計画的に家庭学習に取り組む【80%】

- ① 基本的な生活習慣を意識して生活する【85%】
- ② 体づくり積極的に取り組む【85%】
- ③ 今富スマートルールを守って生活する【85%】

○働き方改革への取組

- ※ 週1回(水曜日)の一斉退勤日の徹底を図り、勤務時間外在校時間月45時間以内を目指す。
- ※ 休暇が取りやすい環境を整備し、年休の取得日数を5%増やす。
- ※ 気軽に相談できる体制づくりを図り、働きがい・働きやすさのスコアを市平均以上に引き上げる。

○家庭・地域との連携

- ※ 月1回の学校だよりの発行と地区全戸への回覧を行ない、全地区民との協力関係の構築に努める。
- ※ 週2回のHPの更新や学校公開等で、学校の情報を広く公開する。